

まとめと練習① be 動詞のいろいろな働き やってみよう 解答・解説

①

- (1) I **was** twelve years old last year.
 (2) **Were** you at home last night?



解説

- (1) last year「昨年」(過去を表す語)があることに注目! それに合わせて、上の表を参考に am⇒**was** に変えます。
 (2) ここでも過去を表す語 last night「昨夜」があることに注目! 上の表を参考に are⇒**were** に変えますが、文頭にあるのでwは大文字のWにすることに注意しましょう。

プラス1点博士 W(ダブルユー)は大文字も小文字も同じ形だから「大きさ」に気をつけて書き分けるべし!



イコール (=) の役を担うのは am, is, are などの be 動詞!			
主語 (OOが, OOは)	原形 (もとの形)	現在形 (普段のこと, 習慣)	過去形 (過去の状態)
I	be	am	was
you		are	were
複数 (We, They, 複数形: Students など)	can などの助動詞の後ろや, to + 原形の形で使われます	are	were
その他 (He, She, It, Mr, Odo など)		is	was

②

- (1) We **are going to play soccer tomorrow.**
 (2) She's **not going to clean her room tomorrow morning.**
 (3) **Are they going to see a movie next Monday?**
 Yes, they are. (going to see a movie next Monday.)



解説

- (1) every day を tomorrow に変える、という指示は「未来のことを言う形に変える」ということ。play (動詞) の前に学習した未来形「be going to～」を置きます。上記の表を参考にして、We に合う be 動詞の形の **are** に変えます。

プラス1点博士 「to の後ろは、動詞の原形」だから、play はそのままの形 (played や playing にならないぞ!)

- (2) 「be 動詞がある文では、その後ろに not (否定語) を置く」という、1年生の時の学習を思い出そう。例えば I am from Akita. という文は I am **not** from Akita. と書きかえられますね。同じように考えると、文の中の **'s** が be 動詞 (**is**) なので、その後ろに not を置けば完成です。

プラス1点博士 文中の her room は、「彼女の部屋」という意味です。同じように tomorrow morning も、ひとまとまりで「明日の朝」。語がまとまって一つの意味を成すものを見つけると、読解スピードも上がるぞ!

- (3) 「be 動詞がある文では、その be 動詞を文頭に (主語の前に) 持っていくと疑問文になる」という、1年生の時の学習を思い出そう。例えば You are Chikako. という文は **Are** you Chikako? と書きかえられます。同じように考えると、文の中の **'re** が be 動詞 (**are**) なので、are を文頭に移動させれば完成です。そして、勿論、文頭は大文字ですね!

プラス1点博士 ① 語尾に「?」(クエスチョンマーク)を付け加えるべし!

② be 動詞を使って質問されたら be 動詞を使って答えるべし! (主語と動詞は揃っているように)